

# 検察官から見た 性犯罪事件の問題点

「性暴力被害者が、刑事手続の中で二次被害に傷つかないようにしたい」  
今回、講師としてお招きする田中嘉寿子さんは、検察官として数多くの性犯罪や児童虐待事件を担当された経歴をお持ちです。関わる中で被害者から教えられたことには、被害そのものの辛さや苦しさだけでなく、刑事手続の過程で受けた二次被害もあったということです。

捜査の過程における警察官や検察官による二次被害を防ぐことの重要性和、それが公判での十分な立証を支え、被害者が納得できる判決に繋がることについての詳しい捜査マニュアルがほとんど無かったことから、田中さん自ら書かれたのが今年1月に出版された『性犯罪・児童虐待捜査ハンドブック』（立花書房）です。

刑事手続の概要、性犯罪の刑事手続における被害者の負担と被害者保護のための諸制度など分かりやすく解説していただきます。参加者が素朴な疑問を感じる点を率直に呈示していただき、対話を重視しながら進めていく予定です。専門知識がないという方でも大丈夫です。ぜひ、ご参加ください。



- 日時 2014年5月27日(火)  
18時30分～21時
- 場所 ドーンセンター・4F 中会議室  
(大阪府男女共同参画・青少年センター)
- 講師 田中嘉寿子さん  
(大阪高等検察庁検事、法科大学院派遣教授)
- 会費 1000円

\*維持会員の方は無料です。

参加は  
女性のみ

お問い合わせ

性暴力を許さない女の会

大阪市東淀川郵便局私書箱15号

TEL 06-6322-2313 (毎週火曜日 夜7～9時のみ)